



事務局：（公財）奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス: gvnc@nifty.com

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/gvnc>

## ●主な活動の記録 (10月～12月)

10月4日(土) "里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会" 奈良阪

奈良市地球温暖化対策地域協議会との共催で、公募による一般参加の親子づれ 50 名弱が元明天皇陵横に集合。当クラブ員 6 名が森林作業体験と竹クラフトづくりの指導にあたった。

イベントの趣旨説明の後、竹林側の広場へ移動。森林環境教育の一環として、里山・竹林・竹についての話について、竹林整備作業の手順・注意事項等を聞きリーダーに先導され班別に竹林に入り、竹伐り作業を家族単位で体験。ノコギリを初めて使う子供もあり、手解きを受けながら伐り倒した。各自背丈程の長さに玉切りしたものを、イベント用に借りた隣接の若葉建設駐車場へ運んだ。そこでは事務局の皆さんの手でバームクーヘン焼きの準備が整っており、子供達は順に竹を回しながら太くしていった。焼き上がりを待つ間栗拾い。拾った栗を持ち帰り茹で上げ、昼食後にバームクーヘンと共に味わった。午後旬当てクイズに次いで竹クラフトづくり。まずコップを作り、時間が許す限り、花瓶・貯金箱やソーメン流し等次々と作り上げた。事務局の皆さんの周到な準備と盛りだくさんの内容で、参加の皆は大人も含め大いに楽しんだ模様。



森林環境教育



竹伐り作業体験



バームクーヘンづくり

10月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本日はうれしい事に新しく若い参加者3名あり(奈良2・大阪1)。緑の募金公募事業「頂上展望台の景観と荒廃した森林地帯を再生する」を実施。現地、頂上展望台へは時間がかかるため、出席簿に記名の後、順次頂上に向かい、現地で朝会を行った。作業は眺望回復のための伐木班と周辺の景観を改善する環境整備班に分け、それぞれに指導者をつけ安全作業に徹した。伐木班は事前にマーキングしてあった樹木に一本梯子を使い、ロープを掛けて伐倒方向を安定させた。樹高14メートル前後、胸高直径は30～40センチを4本処理した。作業中は安全のためハイキング道に人が立入らないよう標識を置き、監視のための要員を配すなど安全を第一に作業を行った。環境整備班は管理道東側の人工林を覆う藪を整備、ハイキング道が明るくなった。参加者21名事故なく少し早めの14時に頂上を後にし、14時30分子供交流館で終礼。

10月15日(水) 飛鳥里山クラブ共同作業 矢田山遊びの森

昨年に続いて、同クラブ養成講座受講生とOBであるクラブ員合わせ16名との交流と共同作業を実施。午前中は子ども交流館内情報館でのクラブ紹介、その後クラブ運営を中心とした質疑・意見交換し、頂上展望台へハイキング。途中、朝一から作業をしていた当クラブ員7名と合流。展望台広場で交流を兼ねての昼食。この間たまたま立

ち寄せられたハイカーによる、華麗な草笛の音色に一時耳を傾けた。午後作業要領の説明を受けてから4班に分かれ、各班に当クラブ員2名が付き人工林に侵入の竹の除伐作業を行った。中にはノコギリを初めて使う女性も、最初はぎこちなかったものの、指導よろしきを得て徐々に手際よくなり、予定の時間が終わる頃には、楽しいので続けてもっとやりたいともらされていた。作業終了後、途中当クラブが放置棚田跡地で長年に亘り手掛けて”みんなの森”として整備し、植林、その後の手入れで守ってきた”万葉の森””野鳥の森”等を経由し、最後に炭窯の見学。反省会を料理体験館で持ち、参加の皆さんから感謝の拍手を頂いて解散。



理事長挨拶



頂上展望台へ



作業風景



### 10月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者17名。朝から快晴の下、朝礼で作業の説明。久々に植栽地の草刈り。木の実や人も喜ぶ柿の木もある”野鳥の森”へ元気に出発。現地に到着、笹・蔓が生い茂り意気消沈。班長から作業要領の説明あり。下草刈り機6台が手分けし先に入り、道の確保。谷筋では左右に分かれ、切り開いて進む。そのあと、手鎌隊が、坪刈り、巻きついた蔓の取り外しを進める。この時期は蜂が活発に動いているので特に注意するようにと説明あり、それぞれに分かれて作業に入る。笹は背丈以上でこれに蔓が絡んでおり先発隊は苦勞、大変でした。柿の木に実のなっているのを見つけ、坪刈班の何人かは収穫を始める。途中休憩をはさみ昼食タイム。刈込の済んだ広場で雑談、楽しく弁当を食す。午後は班長の状況判断から植栽地の上段が手付かずにて全員でとの指示があり。作業を進めるが、気温が高く、お腹が膨らみ、眠気が出て足がもつれ、ア…ア大変、頑張りましょう。終了の笛が鳴り遊歩道に上がると、谷合が開けて目が覚める。収穫した柿を交流館へ持ち帰り、皆に分配。吊るし柿作りの楽しみが出来た。スカットした植栽地の木々は手足を伸ばすことでしょう。蜂にも遭遇せず、怪我もなく無事に終了。

### 10月25日(土) 榎原エコフェスタ クラフト指導

榎原市地球温暖化対策地域協議会”エコライフかしはら”が主催がする”エコフェスタ2014inまほろば”が榎原文化会館前広場で開催され、県中部農林振興事務所が「森の学校」を出展され、当クラブへクラフト指導の養成を受け3名を派遣。森林や林業、木材産業の貢献や重要性について関心を深めてもらう展示に加え、当クラブによる森の恵みを使っのクラフト指導として、竹笛や竹のブービー笛、木や竹の輪切り、木の実を使っのカタツムリやペンダントづくり等を指導、100名強が訪れた。当日はエコフェスタのテーマである地球温暖化防止等の環境保全に努める各種団体36が展示を行った。



開会式



製作風景



傑作

11月1日 環境出前講座 興東中学校

第三回興東里山まつりでの体験講座(10講座)の一つとして「竹細工」を担当。当クラブの活動紹介の後、次の三つの笛づくりに2名が指導にあった。

- ①ストロー笛： 事前にある程度加工したプラスチックのストローを切って2種の笛を作った。長い方には穴を開け音階が出せるようにした。
  - ②ブーブー笛： 篠竹の片方を斜めに切り、切り口にバラン(料理の盛付に使う)を差込む。
  - ③ウグイス笛： 穴を開けた竹に、細めの竹の片方を斜め切りしたものを音の出る位置を見つけグルーガンで固定。
- 参加者は大人を含め15名。子供達は大人の手を借りながら試行錯誤を繰り返し、全員が3種とも音が出せるように出来た。



ストロー笛



ブーブー笛



各種の見本を試す

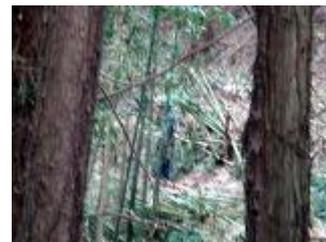
11月8日 定例活動 矢田山遊びの森

「緑の募金」公募事業、「頂上展望台の眺望回復作業」を、参加者18名が除伐班と環境整備班の二手に分かれて実施。除伐班は展望台からの眺めを阻害する高木の除伐。ロープ架けし、チルホールを使って、順当に伐り倒していったが、この日最後となる7本目が非常に高かつ大きく枝が張っていたため掛かり木となり苦戦。最後は環境整備班の手も借り、新たに加えたロープ架けを横から引っ張ってもらい何とか無事所定の方向に着地させた。環境整備班は、付近の草刈り、灌木の処理と近くの竹の除伐を行った。

本日の朝礼時、会員の岡本寿夫氏の秋の叙勲の報告があった。

解散後の定例理事会、下記の報告・決定があった。

- ・全国豊かな海づくり大会でのクラフト指導の要領
- ・忘年会の開催 12月16日(火) 西大寺 味見座 5:30より
- ・「緑の募金」昨年度の助成金の交付
- ・12月13日の総会議案の打合せ
- ・FV連「緑の募金」公募事業”竹林整備と竹の利活用”の活動の一環として、一般参加者を募集し、イベント”竹林整備体験とミニ門松づくり”を12月23日(祝日)に実施を決定。詳細はHP 本体イベント案内に掲載



除伐班作業風景

竹伐り

11月15日～16日 全国豊かな海づくり大会～やまと～

今年で34回目となる本大会が当県で開催され、会場の一つである橿原市まほろばキッチンで行われる行事の一

つとして、クラフトを実施。2日間に亘り当クラブ員延べ16名が指導にあたった。指導したのは、

- ・もっくん—桜の枝を使ってのもっくん、エンピツ等を作る
- ・もくまるくん—サイズの異なる木の輪切りを組合せて、アンパンマン、パンダ、バイキンマン、ミッキーマウス等
- ・竹クラフト—竹の輪切り、大中小でカタツムリ、小鳥等
- ・ドングリクラフト—各種のドングリを使ってやじろべ、こま、人形等
- ・お面—ホウノキの葉に目・口を切り取ってお面に
- ・フクロウづくり—ススキやオギの穂を使って。

と多種の材料を取り揃えたため、子供は無論多くの大人も参加し大盛況で、一時は作業台の順番待ちが出来るほど。次々と思いつきの作品を作っていたため、二日目の後半一部材料が底をつきかけ、種類や数を制限せざるをえぬ状況となった。県職員2名が、二日間つきっきりで応援、呼び込みや案内、時にはクラフト指導のお手伝いも頂き大いに助かり、感謝！



### 製作風景

11月19日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

「森林と山村の多面的機能発揮対策」事業の一環として、昨年一年をかけて、まほろば展望台麓付近で侵入した竹の除伐整備した場所で本年二回目となる維持作業。主として竹のひこばえと倒木の処理を11名の参加で実施。再びスッキリとなり、生駒山脈がクッキリと見通せるようになった。



倒木の処理



ひこばえ切り



竹の除伐

11月22日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

FV連「緑の募金」公募事業”竹林整備と竹の利活用”の活動に24名が参加。榊野工務店横の竹の除伐、枯損木(桜・松他)の処理をし、クラフト用の材料としての竹を採取し午前の作業を終えた。午後は、来月奈良北高校とイベントとして一般参加者を募集してのクラフト”ミニ門松づくり”材料として、飾りとなる松等の材料採取を行う一方、一部は以前から調子の悪かった薪割り機の部品の取替、整備を実施。

12月6日(土) 森林作業体験指導 奈良北高校

全林研、高校生等に対する林業経営・就業体験等助成事業の一環として、当クラブ員7名の指導の下実施。厳しい冷え込みとなったこの日の朝、早くから同校2年生の体験希望者40名弱がグラウンドに集合。挨拶・スタッフ

紹介・スケジュール説明後、5班に分かれ、周辺の学校林に入る。スタッフによる、間伐の意義・要領・注意点等を聞き作業開始。まず倒す方向(現場は道路とフェンスの間の比較的狭いところ故、範囲に限られる)を決め、竹竿を使ってロープを架けてから、生徒達は手ノコで代わる代わる順に、受け口・追いを入れ伐倒。次いで枝払い・玉切り・棚積みをし、一連の作業を体験。一休みの後、場所を校内駐輪場に変え、森林環境教育—森林の現状・COP20を初めとする地球温暖化の問題を講義。次にクラフト体験として、数名ずつのグループに分かれお互い助け合いながらミニ門松づくりに挑戦。すべりやすい竹だけに苦勞しながら、太い竹を適度な長さに切り、そこに斜め切りをした細目の竹3本と、梅の枝・南天・松葉を指し入れ完成。最後に育友会からのパンと飲物を頂き解散。



ロープ架け



受け口・追いを入れる



枝払い・玉切り



ミニ門松づくり

#### 12月7日(日) 自主活動 矢田山遊びの森

林野庁助成事業、侵入竹の整備7名の参加で、今まで手掛けた所は一応の目途がついたので、今回から場所をまほろば展望台西下方に移し実施。かなりの急斜面と枯れた竹が多くあり手こずりながらの作業となった。切った竹は斜面を利用して下へ滑り下し足場のいいところで捌いて棚積みをした。処理した後の人工林は日が入り、かなり見通しがよくなった。

#### 12月13日(土) 定例活動 総会 矢田山遊びの森

午後第6回通常総会が開かれるため、主な作業は午前中ながら、大半がFV連「緑の募金」公募事業”竹林整備と竹の利活用”の一環として、工務店横の竹の除伐作業に、あとは同じく当クラブの「緑の募金」公募事業である”頂上展望台の眺望回復作業として眺望を阻害する大きな木々の除伐作業を6名で実施。風が強く吹く中、テルホールを使い4本を伐倒。

昼食には、朝早くから女性陣で準備の温かい具沢山の豚汁とご飯を頂いた。

定刻に総会を料理体験館で開催開始。

まず理事長より、新体制になって3年が無事やってこられたのも、偏に会員並びに理事達の協力の下、活動が無事に出来たことに対する謝辞があった。この機会に改めて、各理事の役割・内容の紹介があった。今後も長く楽しく続けられるよう皆の協力の要請があった。

議事を進めるにあたって、事務局より本日の出席者(委任状を含む)26名にて、定足数を満たし総会が成立する旨の報告あり、議長並びに議事録署名人2名を選出し下記議案を理事長よりの説明のあと審議。

第1号議案 平成25年度 事業報告

第2号議案 平成25年度 会計報告

第3号議案 平成26年度 事業計画

第4号議案 平成26年度 活動予算

いずれも拍手多数で原案通り承認

第5号議案 役員改選

今年度は改選期にあたるが重任、但し長年用器類の管理を担当された和巻理事が退任を希望

されているため、新たに東條さん推薦の提案あり、拍手多数で承認。東條さん就任の挨拶後、  
一二質疑あり予定の時間となったので閉会。

残りの時間で、・23日イベント”ミニ門松づくり”のための材料集め・横断幕用杭の作り替え・料理体験館の整理清掃に分かれて作業し解散、この後開かれた定例理事会で

- 1) 器具類の棚卸を12月23日に実施
  - 2) 忘年会の申込状況の報告とまだの人へ手分けして呼び掛け
  - 3) 23日”ミニ門松づくり”のイベントの手順並びに役割分担
- 以上の報告・決定が行われた。

12月16日(火) 忘年会 西大寺味楽座

夕刻より19名が参集。開始にあたり、理事長より这一年何の事故もなく活動が出来たことに感謝し、又来年も同様にと願っての発声で乾杯。暫し酒食を味わいながら歓談。

途中、内山氏が本年、お元気で米寿を迎えられたのを祝し代表の女性より花束の贈呈を受けられ、健康保持のための心掛けなどを披露願った後、引続き歓談。あっという間に予定の時間となり散会。

12月17日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

爆弾低気圧の襲来で、厳しい冷え込みに加え、強風の中、8名が参加。「森林と山村の多面的機能発揮対策事業」侵入竹の除伐”。枯れ竹が多く混じる竹の密生したかなり急斜面で足を踏ん張りながらの作業。今回は竹伐り専用のチェーンソー1台を使用したため作業効率が少しよくなった。昼は立木や灌木を風よけに手がかじかみ、口も開けづらいほどで弁当を食す。持参したポットのお湯が幸いまだ温かく、これにてわずかの暖をとり午後の作業を再開。

12月23日(火) イベント 矢田山遊びの森

FV 連主催の「緑の募金」公募事業の”竹林整備と竹の利活用”の一環として、一般参加者を募って竹林整備とミニ門松づくりのイベントを開催。25名が参加。

イベントの趣旨説明に続いて辰巳森林インストラクターによる竹の話—種類・特性・用途等—を聞いてから、半数程が芝生広場中程にある四方竹(四角状の竹)の林で作業要領の説明の後、整備作業を開始。枯れたものや曲がったものを伐り取って廃棄場所へ運び込み、小口切りし昼前に終了。

昼食には、温かいツバやうどんを又、デザートとして芋やマシュマロを焼いて頂いた。

午後、うつわ用に太い竹を15cmほどに切り、これに斜め切りした細目の竹、松、南天、梅、モチノキの枝を差し込んで完成。一人で二三個作る人もいた。残り半数は、器具類の棚卸と倉庫並びに炭窯周辺の清掃の二手に分かれての作業。定刻となり、お互いに”良いお年を”と挨拶をし家路に着いた。



竹の話を聞く



竹の伐採作業風景



門松づくり